



令和 6 年 8 月 3 1 日
 桐生市西久方町1-10-11
 時宗 青蓮寺
 ☎ 0277-22-5268 Fax 44-9085

今年は昨年以上に暑い日が多くありました。桐生もお陰で大分有名になってしまいました。今後とも年々気温上昇が続くのでしょうか？

暑さ対策として空調ベストを購入してみました。工事現場などよく使われているやつです。格好より実を取ると思えば普及しているだけあってなかなかのものでした。自己防衛をする必要があるようです。

お寺からの 大切なお知らせです 必ずお読み下さい

*お知らせ、リニューアルします。字数を3割減らして読みやすくします。

＝ も く じ ＝

【1】お施餓鬼法要について	2	【10】お墓のお供物について	7
【2】檀信徒総会について	3	【11】墓地の整理・改修について	8
【3】重要文化財本尊様のご開帳について	3	【12】おさい銭の使途について	8
【4】お経の会について	3	【13】駐車スペースが増えました	8
【5】インドの聖地巡礼を実施します	3	【14】一遍上人の生涯(32)	9
【6】青蓮寺の永代供養について	4	【15】清掃料等の収支について	10
【7】怪しげな宗教・靈感商法対策	5	【16】ちょっといい話	11
【8】ペットのお墓について	6		
【9】年回法要等の申し込みについて	6		

【1】お施餓鬼法要について

今年のお施餓鬼法要は、コロナ以前の法要に昨年以上に戻るものとなります。

◎日 時 10月9日（水） 午後2時より

◎施餓鬼料 一霊（塔婆一本） 5千円

◎供養の内容 対象者が多数の場合は『先祖代々の霊』で
対象者がお一人の場合は『戒名』でも可
墓地だけの檀家さんは『無縁様』の供養を

◎申し込み ◎世話人さんがお伺いするお宅は、世話人さんに申し込みを。

◎寺扱いのお宅には、寺から直接お知らせを送りますので、
同封の郵便振替用紙で10月3日までに振り込みを済ませて下さい。直接寺に申し込みも出来ます。
遅れてしまった場合には、とりあえず電話をして下さい。

★年に一度の大法要です。必ず申し込んで下さい。

コロナの流行以降、あらゆるものをコロナのせいにして簡略化してしまいました。このままで良い訳がありません。今まで大切に守ってきたものでさえ省略して、その言い訳が『コロナのため』となっていました。でも、これからはコロナのせいには出来ません。改めて大切なものは何か考えてみて下さい。

大変かもしれませんが、元に戻す努力をしなくてはなりません。ご先祖方の供養は第一に上げるべきものだと思います。ご先祖様あっての今なので、素直に感謝しなくてはなりません。

*お施餓鬼の塔婆は、当日お越しいただけなかった方のため、10月中は本堂でお預かりします。11月に入ると順次寺でお立てします。

遅れてしまったとしても可能な限りご自身でお立て下さい。

【2】檀信徒総会について

お施餓鬼法要終了後、檀信徒総会を開催します。

ご意見・ご要望などございましたら、遠慮なく申し出てください。

お寺はみんなで守らなくてはならない大切な場所です、生きるために必要な拠り所なのです。積極的にお寺に関わって頂けますようお願い致します。

【3】重要文化財本尊様のご開帳について

秋のお彼岸「中日」に恒例の本尊様のご開帳をいたします。年に一度だけのご開帳です、是非お参りをなさして下さい。檀家さんでなくても参拝できます。**(今年の秋分の日は9月22日です、ご注意ください。)**

◎ 9月22日(秋分の日) 午前10時～午後3時までです。

【4】お経の会について

毎月お経の勉強会を開催していますので、是非参加して下さいますようにご案内いたします。(興味のある方なら檀家さん以外でも参加できます)

◎開催日時 毎月1日 朝6時より 約1時間(3～12月)
(1月は午前0時から、2月は朝6時半より始めます。)

◎内容 お経を読むこと、お経の内容を学ぶこと。

お経の内容を学びお読みすることは、仏教徒として極めて自然な行い입니다。都合の付くときだけでも是非参加して下さい。

【5】インドの聖地巡礼を実施します

来年、令和7年2月12～22日の11日間、お釈迦様の八大聖地を参拝します。

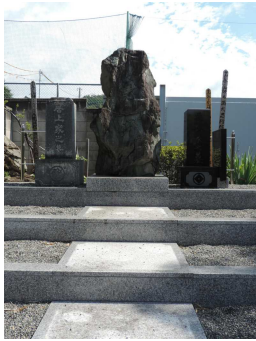
皆さんをおさそいしての巡礼はこれが最後となります。間もなく後期高齢者となり身ですから無理は出来ません。高度成長に入ったインドのエネルギーを感じる事も良いでしょう。

参加を希望される方、興味を持たれた方は住職にお尋ねください。

【6】青蓮寺の永代供養について

青蓮寺には『アユスの郷』および『慈光の郷』と二つの永代供養が用意されています。

◎庭の正面にあります4頭の獅子のモニュメント（アショカ王柱の柱頭でインドの象徴です）を頂く『アユスの郷』は墓地をお持ちでない方が主たる対象になります。（4つの供養方式があり、選ぶことができます）



◎既に青蓮寺の檀家であり墓石を有する方の為に本堂裏手に設けました永代供養墓苑が『慈光の郷』となります。皆さんのお墓を移設しての永代供養です。

後継者の問題でお悩みの方もあろうかと思いますが、どんなことでも構いませんから遠慮なさらずに相談して下さい。相談は、お元気なうちにされることが理想だと思います。悩んでいるよりもまずは相談、これが一番の解決策と心得てください。ネットの情報などに頼らないことが大事なんです。

青蓮寺は、永代供養に加入する前に『とことん納得のいくまで話し合っ
て』を基本にしています。

よく永代供養や墓じまいの広告が入ります。テレビや雑誌などでもよく広告されています。どこも、低料金であることを売り物にしています。

果たして本当でしょうか？（こんな筈じゃなかった、よくある事です。）

『子供に迷惑をかけたくないから』がうたい文句ですが、無責任この上ない業者の、不安をあおり利益を上げようとする魂胆が見え見えます。

盛んに低料金の葬儀をテレビや雑誌、新聞などで宣伝している業者があります。安易にこの売り言葉にだまされないで下さいね。トラブル続発で、国の指導を受けたり罰金を科せられたりしています。じつは、彼らは葬祭業者ではありません。単なる葬儀の取次業者なのです。宣伝力にもものを言わせて葬儀の横取りをし、マージンを取って地域の業者に丸投げです。トラブルが起きない方が不思議というもんです。

【7】^{だま}欺され^{あや}ない^{たくさん}で！ 怪しげな宗教・靈感商法対策

世の中には、怪しげな宗教が沢山あります。怪しげな霊能者を名乗る輩もたくさんいます。宗教者のふりをして人をおとしめようと虎視眈々と狙っている不徳の輩もいます。さもさも親切なふりをして信じ込ませ、判らないうちにマインドコントロールをされてしまいます。そうなると言われるがままになってしまいます。何を言われようと熱狂的に信じてしまい（盲信）、周りでいくら^{くげん}苦言をもっていさめようとしても聞く耳を持つことはありません。

そのようになった人（信者）に対して、様々なものを法外な金額で売りつけたり、多額の^{けんきん}献金や布施をさせるとというのが共通しています。

信者^{おど もんく}に対する^{れいしよう}脅し文句

①^{れいしよう}霊障^{おど}が有^{もんく}るからうま^くい^かない。と言うものです。

先祖の霊がたたっている。供養されていない水子の霊がとりついているなど。

②これを信じれば^{なほ}病気が^{なほ}治る。（あらゆる都合が悪い事が取り除かれる）

③この世界が^{ほろ}滅^{しゅうまつろん}びる、と言う終末論。

（この教団に属する信者だけが救われるという都合がよいものもある）

④脱会しようとする^{だいがっしょう}と『^{じごく お}地獄に墜^{だいがっしょう}ちる』の大合唱。（病気になる^{だいがっしょう}って死ぬ^{だいがっしょう}みたいなことを言われる、家族が不幸になると言うのもある）

⑤^{しんじん}信心^{しんじん}が足り^{しんじん}ないから。お布施が少^{しんじん}ないからうま^くい^かない等。

⑥^{しんじん}これがある^{しんじん}から都合よくないこと（悪いこと）が起きてしまった。
大切な先祖のお位牌であっても捨てさせる。

⑦これを^も持てば、^も霊障^もなどを取り除^もくことができる。（運が開ける）

このような話が出てくるところには近づかないことです。最初は正体を^{かく}隠して、親切^{よそお}を装^{なや}って悩み^{なや}を聞いてくれたり慰^{なぐさ}めてくれたり知らずに引き込まれてしまうことが多いです。おかしいと気付いたら勇気を持ってきっぱりとやめましょう。脅^{おど}し文句に負^{おど}けてはいけません。

【8】ペットのお墓について

ペットのお墓には、檀家さんのペットに限らず、どなたのペットでも納骨が出来ます。

- ◎供養にかかる費用 ペットの納骨料1万円 + 塔婆供養料5千円です。
- ◎合同供養法要 毎年6月に実施（納骨者にはご案内をします。）
- ◎随時供養 納骨、供養等随時（寺の都合を確認してください。）
- ◎納骨できるペット どの様なペットでも可（火葬済みであること）
青蓮寺のペット供養墓は、合葬式となっています。

【9】年回法要等の申し込みについて

年回法要等をなさる場合には、あらかじめ寺にご照会のうえ日時を決めてください。

- ◎申し込みは 2ヶ月前から承ります

- ◎供養に際して お布施 + 塔婆料（一本につき3千円）
本尊様へのお供物・お花等は随意です。ただしお花を供えてくださる場合には前日夕方に、花屋さんにお問い合わせすれば届けてもらえます。）
お供物とお花（本尊様・墓地）一万円で寺でもご用意できます。

なお2ヶ月以上先の法事の申し込みは、住職・副住職の予定が立ちませんので、お問い合わせいただいてもお受けいたしかねます。

お施主さん以外の方（兄弟や子どもさん、ご親戚の方、故人と特に親しかった方）も塔婆供養することが出来ます。（塔婆供養料5千円）

***法事を受けられない日 お盆中・春秋のお彼岸中・半僧坊のお祭り前日と当日（4月第2日曜日とその前日の土曜日）・お施餓鬼法要の当日とその前後（10月8・9・10日）等。**

供養で最も大切なことは、自分をどうしたら生かし切ることができるかを考えることだと思います。遙か昔から連綿と受け継がれてきた命を今私は預けられているのだという自覚がとても大切です。私は多くのご先祖様の命を頂いているのだと思い当たれば、素直に感謝の思いが湧き出てきます。

【11】墓地の整理・改修について

5年間以上墓参がなくなっておかつ寺に何の連絡もなく、清掃料等の納付も無い状態が続きますと、無縁として整理させていただくことになります。

どのような状況であっても、音信不通にだけは絶対しないでください。
(せっかく墓参されても、寺にあいさつがない場合には、墓参がないと判断してしまう場合がありますので、必ず声を掛けて下さいますように。)

転居した場合には、必ず新住所・電話番号等をお知らせ下さい。

(転居後半年の間は郵便局に届けておけば、郵便物は転送されるのですから、振替用紙の通信欄に新住所等を記入して下さい。)

墓じるしが無い等、どちら様の墓地か第三者の目から見て判らないような状況にしてしまうことのないように。

【12】おさい銭の使途について

本堂にあげられたおさい銭は、災害などの義援金や歳末の助け合いに。

ひとり一人のおさい銭は小さな金額かも知れませんが、でも集まると意外に大きな金額になるものです。

【13】お寺の運営とは？その実態

皆さんから納めていただいている清掃料等は、かかる費用の一部に過ぎません。お寺の運営に要する費用の15%程度を負担していただいています。

青蓮寺には財産はほとんどありませんから、経費のほとんどを皆さんから頂戴するお布施や付け届けに頼っています。

寺を維持するために要する経費は一千万円を軽く超えています。この必要経費を檀家数で割ると、一軒当たり2万五千円ぐらいになります。これだけの経費をかけているからこそ子供さんに絵本をあげたりが可能になる訳です。

住職一家はそれ以上のお布施などから給与を頂いて生活をしています。ですから、かなり節約をしていると思っただけならば有り難い事です。

お寺の運営は、これからますます苦しくなると言われています。将来、お寺の数は半分以下しか残れないと言われています。

【14】^{いっぺんしやうにん}一遍上人^{しやうがい}の生涯 (33)

この地の住人であります中務入道という人がやってきて「今日は西ノ宮のお祭りであります、もし上人が今日ご臨終であるならばこの土地の者はお祭りに参る事が出来ません、どうしたらよいでしょうか。」と申しあげましたので上人は「それでは今日は臨終せずに日延べしよう。」と応えられました。

一遍上人は、日中の法要が終わってからしばらくとうとうととしていましたが目を覚まされ「ただいま西ノ宮の大明神が最後の結縁しようとおいでになられたので目を覚ました」と仰っているところに、西ノ宮の神主がやって来られ「昨年西ノ宮に参詣頂いて以来お慕い申し上げて参りましたが、ご臨終であるとお伺いしましたので、お十念をお受けしたいと思って急ぎやって参りました。」と申しあげました。

一遍上人は西ノ宮の神主を招き入れ、お十念を授けられ、さらにお数珠を授けられました。神主はお受け頂き急いで帰りました。これが人々に授けられた最後のお十念になりました。神も別れを惜しまれたのでしょうか。

同じ日、播磨の淡河殿という婦人が参られてお授けになられたのが最後のご賦算（念仏のお札を与える事）となりました。

おおよそ十六年の間、遊行の旅で人々に与えた念仏のお札は、帳面に記録された人数で25万1724人に上りました。その他に結縁された人々の数は数える事も記録する事も出来ないほどで有りました。

一遍上人は、平素は3日に一度でありました水垢離を20日から22日まで毎日されました。私聖戒は、一遍上人が往生なされるのは間違いのないと思ひ、今までは枕元に座って看病していたのを、最後の夜は足元の方から正面に向かつて片時も目を離さずにお護り申し上げたのです。

一遍上人は51歳になられました。8月23日の午前七時頃、晨朝礼讃の帰三宝が唱えられている間に呼吸が止まったように見受けられましたが、禅定に入られているように静かに往生なされたのでした。

目の中はさわやかで赤いものもありません。前から仰っていた事とと少しも違いがありませんでした。

一遍上人は「良き武士と良き道者とは。自らの死ぬ様をむやみに知らせないものだ。私の死ぬ時を人は分からないだろう。」と言われていました。そのことを疑った人もいましたが、その言葉通りでありました。

このほか、病中に不思議な事が沢山ありましたが、繁雑になりますので書き記さない事にしました。次回に続く

【15】^{せいそう}清掃料等^{しゅうし}の収支について

令和5年度（令和5年9月1日～令和6年8月31日）の^{せいそう}清掃料等^{しゅう}の収支^{しじょうきよう}状況につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

住職・総代一同

* ^{しゅうにゆう} 収入 ^の 部	3,746,312円
^{うちわけ} 内訳	
^{せいそう} 清掃料等	1,717,000
^{くりこしきん} 前年度繰越金	2,029,226
預金利子	86
* ^{しゅうにゆう} 支出 ^の 部	1,892,250
^{うちわけ} 内訳	
^{せいそうひ} 清掃費	1,158,805
火災保険料	99,050
^{ちやがし} 茶菓子他	6,773
植木手入れ	430,100
^{じゆもく} 墓地内樹木手入れ・枝おろし	148,400
^{じよそうざい} 除草剤・ ^{せいそう} 清掃用具・ ^{くじよ} ハチ駆除等	21,939
通信費	27,183
* ^{くりこしきん} 次年度繰越金	1,854,062円

上記のとおりです。ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

- ◎墓参の際には不要なレジ袋をお持ちいただき、ゴミ等をいれ、口を縛^{しば}ってゴミ入れに入れてください。花は半分^おに折って入れてください。
- ◎本堂の入り口にもレジ袋が用意されていますので使ってください。
- ◎出たゴミを紙に包んでゴミカゴ^ぬへ。濡れたらどうにも始末^{しまつ}が悪いものです。そのままゴミ入れにポイ、論外です。
- ◎ゴミ入れには燃^{もえ}えるものだけを入れてください。（ライターは危険物です）
- ◎送り盆^{おく ぼん}でマコモやカワラケなどをお持ちになる場合、きれいに洗って持ちください。お供物類^{くもつ}は持ってこられません様^あにお願いいたします。
- ◎墓石^{そうじ}等の掃除は、お盆^{ぼん}・お彼岸^{ひがん}・お正月の前になさるように心がけてください。
- ◎墓地^う内の植^こえ込みを手入れされる場合は、お盆^{ぼん}・お彼岸^{ひがん}等の10日前までには必ず済^すませてください。
- ◎鹿やイノシシ対策のためにもご理解ご協力をお願いいたします。

【16】 ちょっといい話



一昨年(2017年)の10月、小さな捨て猫を飼いだめた事は昨年のお知らせで書きました。ご記憶の方も有るかと思います。

とてもいたずらで、鳥は捕る・鼠は捕る・モグラは捕る・トカゲは捕る・誠に困ったものでした。そのチロが7月に入ってからちょっとおとなしくなってきました。そのうちに、あまり外に出なくなると体調の悪

さが気になりだしたのです。そしてあっという間に死んでしまいました。僅か10日ぐらいの出来事でした。

チロの亡骸はチャコにも見せてお別れをさせました。チャコは匂いを嗅いで少しなめて別れを惜しんだようです。ミコは驚いたように嵐を吹きました。その後は2匹ともなんだか張り合いのない、手持ち無沙汰のような姿が見られました。

寺に飼われて僅か1年10ヶ月、多分2歳に満たない命だったと思います。でも、野良のままであったならそれほど長らえる事もなかった命だと思います。安心して眠る場所を得、飢えに苦しむ事も、人に追われる事もなく過ごせた時間は幸せだったのだと思います。

きっと何かの病気を持っていたのでしょう、私が最期を看取り、死に水も与えられました。

今まで、寺に動物が飼われていなかった時間はほんの僅かです。ほとんどが野良犬猫・捨て犬猫たちです。彼らは人に嫌われるために生まれてきたのではありません。本来なら愛情を注がれ、人の姿におびえる事無く命を全うできたはずなのにと考えると、一番悪いのは人に他なりません。

弱い命にやさしく出来なくて、なんで人に対してやさしく出来るのでしょうか。

この暑さのせいなののでしょうか、子供の虐待事件が多数報道されていると感じます。まだ1歳に満たない子供、身を守る術のない小さな命が犠牲になる。聞くに堪えがたい痛ましい事件まで起きています。弱者に対する慈しみの心、ペットからも学び取る事が出来ます。

*猛暑下での働き方改革。インドの知恵に学びましょう。

インドの仏跡参拝をしていると、畑で働いている人の姿をあまり見ません。それなりに手入れは行き届いているように見えます。一体どうやって……？

どうやらインドの人々は、気温の上がる昼間は働かないようですと言うより、高温下で働くのは危険です。そこで朝早くから働き、気温が上がってきたら木陰で休みます。夕方、日が傾き出すとまた働くのです。気温に関係なくこれが生活のリズムになってしまったようです。

これは見習った方が良いかもしれませんね。



野牡丹、母の好きな花でした。

一気に咲くのではなく、夏から晩秋にかけてポツポツと咲き続けます。原産地は南米(ブラジル) だそうです。紫色の花は、清楚で華奢な感じがします。

早朝に咲いた花は、翌朝には散ってしまいます。「もののあわれ」を感じる日本人にとっては、うってつけなのかもしれません。

挿し芽で簡単に増やす事が出来ます。

花言葉は「平成・顕著な輝き」です。

庫裏の玄関先で咲いています。

◎ 宗旨：^{じ し ゆ う} 時宗 ◎ 宗祖：^{しゆう そ いっぺんしょうにん} 一遍上人

◎ 本山：^{か な がわけんふじさわし} 神奈川県藤沢市西富町 ^{しょうじょうこうじ ゆぎょうじ} 清浄光寺 (遊行寺)

◎ 寺の正式な名称：^{めいしよう} 仏守山 ^{ぶっしゅざん} 義国院 ^{ぎこくいん} 青蓮寺 ^{しょうれんじ}

◎ 住所：桐生市西久方町1丁目10番11号

◎ 電話：0277-22-5268 FAX：0277-44-9085 (自動受信)

◎ ホームページ：<http://www.shorenji.or.jp> (『青蓮寺』で検索可)

◎ 法話専用ページ：<http://www.shorenji2.com> (『青蓮寺・法話』で)

◎ メールによる問い合わせは info@shorenji2.com (変更しました)

◎ 郵便振替口座：^{ゆうびんふりかえこうざ} 00380-6-2335

ネット銀行やほかの銀行から振り込まれる場合には

◎ ゆうちょ銀行 当座預金 ○三九店 口座番号 2335 へ

氏名・振込金の目的(清掃料等・お施餓鬼料などと明記を)